

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナーその9

学力向上に向けた取組～複数体制での授業づくり～

南が丘小学校では、全学年の国語科、算数科において、2～3名の複数の指導者で、授業を行っています。「学校力向上に関する総合実践事業指定校」として、「学力向上」を目指す取組の一つです。この取組については、4月の参観日の全体懇談において、下の図を用いて説明させていただきました。

江差町立南が丘小学校 **たば風南小のチャレンジ**

学力向上②

〔◎複数体制によるきめ細かな指導の充実〕
○TT指導、少人数指導、習熟度別指導
 ・基礎学力の保障に向けた複数の指導体制

↓

☆全ての子どもへの目配り・声かけ
 (理解度の把握、解決に向けたヒント...)
 ☆子どもの理解度に応じた授業づくり
 ☆子どもの興味・関心を重視した習熟度別指導
 (全ての子どもに表現させる場面づくり)



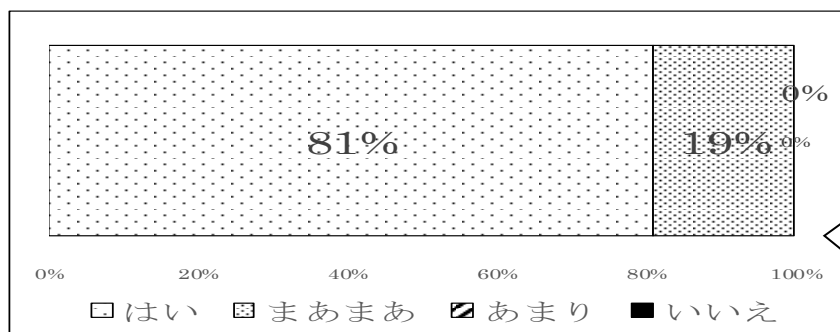
T2の先生方が、子どもたちに決め細やかな指導。



これらの取組について、保護者の皆様からは、大変肯定的な評価を頂いております。

保護者アンケートより↓

「学校は少人数（習熟度別）指導など、
個に応じたきめ細やかな指導で学力向上を図っている」



今年度後期の保護者アンケートの結果です。本校で行っている少人数指導について、「はい」81%、「まあまあ」19%となっており、肯定的評価100%です。
国語科、算数科において、更なる指導の充実を図っていききたいと思います。

南が丘小学校では少人数指導を通して次の学習にも重点的に取り組んでおります。

○自己決定をする時間

- ・学習課題に対する自分の考え方を表現する。
(言葉・文章・図・式・計算)

○協働的に課題解決をする時間

- ・ペアやグループで考えを交流し合う。
「違い」を聴き合える学習集団作り
(全員が課題解決に知恵を出し合う)

